

文部科学省委託調査

平成24年度
開かれた大学づくり
に関する調査研究

－ 調査報告書 －

平成25年3月

株式会社 リベルタス・コンサルティング

目 次

【調査実施概要】	1
1 調査研究の趣旨	1
2 調査研究の方法	1
A アンケート調査結果 - 大学編	5
【回答者 プロフィール】	6
1 開かれた大学づくりに関する実施方針	7
2 公開講座の実施状況	21
3 公開(開放)授業の実施状況等	42
4 出前講座・出張講義の実施状況	45
5 地域人材養成の状況	50
6 社会人の学び直しの実施状況	60
7 サテライト教室の状況	73
8 施設開放の状況	76
9 地域連携に関する取組の状況	79
10 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針	89
B アンケート調査結果 - 短大編	95
【回答者 プロフィール】	96
1 開かれた大学づくりに関する実施方針	97
2 公開講座の実施状況	107
3 公開(開放)授業の実施状況等	125
4 出前講座・出張講義の実施状況	127
5 地域人材養成の状況	131
6 社会人の学び直しの実施状況	135
7 サテライト教室の状況	141
8 施設開放の状況	142
9 地域連携に関する取組の状況	143
10 開かれた大学づくりに期待する効果・今後の方針	152
【ま と め】	157
【開かれた大学づくりに関する各大学の取組(ヒアリング調査結果)】	163
【参考資料:調査票】	177

【調査実施概要】

1 調査研究の趣旨

大学（短期大学含む。以下同じ）は、地域や社会の知の拠点として、住民の生涯学習や多種多様な主体の活動を支えると同時に、地域や社会の課題を共に解決し、その活性化や新たな価値の創造への積極的な貢献が求められている。また、こうした取組を継続して行うことが、大学が地域等に支えられる機関としての確固たる地位を築くことに繋がっていくと考えられる。

本調査は、住民等の学習機会として重要な役割を担っている大学公開講座の実施状況のほか、大学と地域との関係構築に関する取組状況を把握・分析することで、開かれた大学づくりを推進するための基礎資料を得ることを目的に実施する。

2 調査研究の方法

(1)有識者会議の設置

本調査の円滑な実施を図るため、必要な助言等を得ることを目的に、有識者等で構成される有識者会議を設置した。

有識者会議の委員構成は、下記の通り。

【有識者会議 委員構成(敬称略、五十音順)】

委 員	
高崎経済大学 准教授	櫻井常矢氏
宇都宮大学 生涯学習教育研究センター 准教授	佐々木英和氏
國學院大學総合企画部エクステンション事業課長	山口耕司氏

有識者会議の開催概要は以下の通り。

【有識者会議 開催概要】

回	時 期	テーマ
第1回	平成25年2月1日(金) 15時00分～(2時間程度)	調査方針の検討、アンケート調査票の検討
第2回	平成25年3月27日(水) 15時00分～(2時間程度)	アンケート分析結果、ヒアリング結果、報告書案の検討

(2)調査の実施

①調査対象・方法

すべての大学・短期大学に対してアンケート調査を実施した。調査の対象期間は平成 23 年度（時点調査を行う項目は平成 24 年 5 月 1 日）及び平成 25 年度の計画とした。回収率は 100%を目標とし、未提出の大学に対する督促を継続して行った。

アンケート調査の実施概要は以下の通り。

【アンケート調査実施概要】

	実施概要
対象者	全国の大学・短期大学 1118 件
調査方法	郵送配布・郵送回収
督促	葉書督促、電話督促
回収率	95.0% (1062 / 1118)

②調査項目

調査項目については、【参考資料（調査票）】を参照。

(3)現地ヒアリング

①調査対象

アンケート調査等の結果から開かれた大学づくりについて特色ある取り組みを行っている大学に対してヒアリング調査を行った。

ヒアリング調査の対象は以下の通り。

【ヒアリング調査対象】

【大学名】
金沢大学
関西学院大学
北九州市立大学
松本大学
明治大学

②調査項目

調査項目は以下の通り。

【ヒアリング項目】

(1)開かれた大学づくりに関する方針

- ・実施方針
 - ・公開講座、地域連携、産学連携における学内の優先順位
 - ・学長の注力度
 - ・各組織への大学としてのバックアップ
- ・組織体制
- ・活動概要

(2)公開講座の実施状況

- ・学内での位置付け/組織体制
- ・実施規模/対象/内容
- ・収支状況
- ・特色ある取り組み

(3)地域人材養成・社会人の学び直しに関する取組

- ・学内での位置付け/組織体制
- ・実施規模/対象/内容
- ・特色ある取り組み

(4)地域連携

- ・学内での位置付け/組織体制
- ・実施規模/連携先/内容
- ・特色ある取り組み
- ・地域連携のメリット/今後の課題

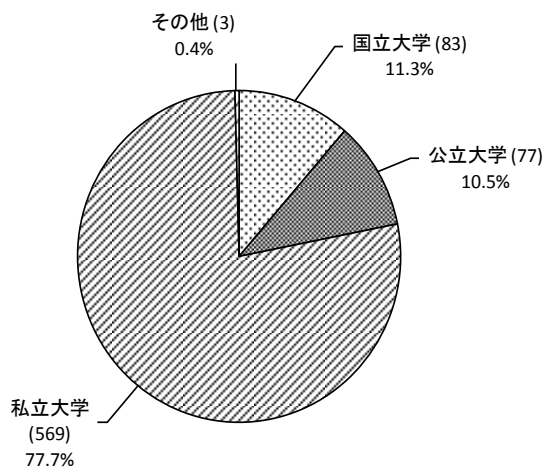
(5)その他

- ・その他、アンケートの回答内容について

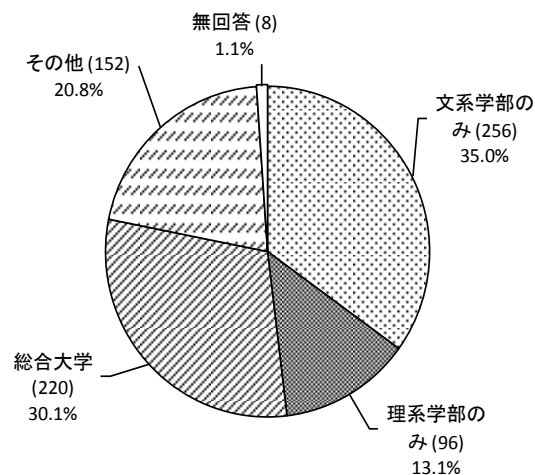
A アンケート調査結果 - 大学編

【回答者 プロフィール】

図表 1 設置者の別



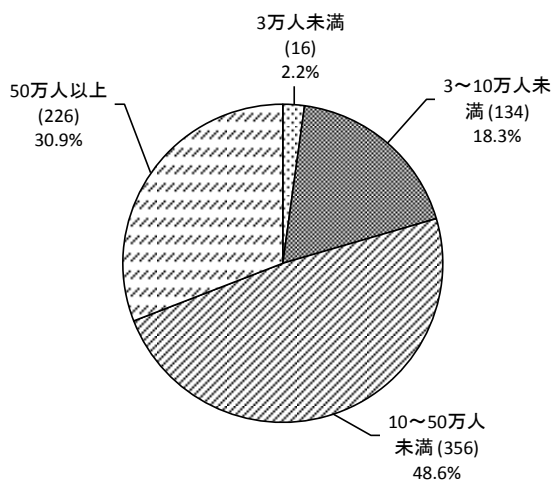
図表 2 学部構成



図表 3 設置者別 学部構成

	全体	文系学部のみ	理系学部のみ	総合大学	その他	無回答
全体	732 (100.0%)	256 (35.0%)	96 (13.1%)	220 (30.1%)	152 (20.8%)	8 (1.1%)
国立大学	83 (100.0%)	9 (10.8%)	14 (16.9%)	47 (56.6%)	13 (15.7%)	0 (0.0%)
公立大学	77 (100.0%)	14 (18.2%)	16 (20.8%)	23 (29.9%)	23 (29.9%)	1 (1.3%)
私立大学	569 (100.0%)	231 (40.6%)	66 (11.6%)	150 (26.4%)	115 (20.2%)	7 (1.2%)
その他	3 (100.0%)	2 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)

図表 4 立地地域(市区町村)の人口規模

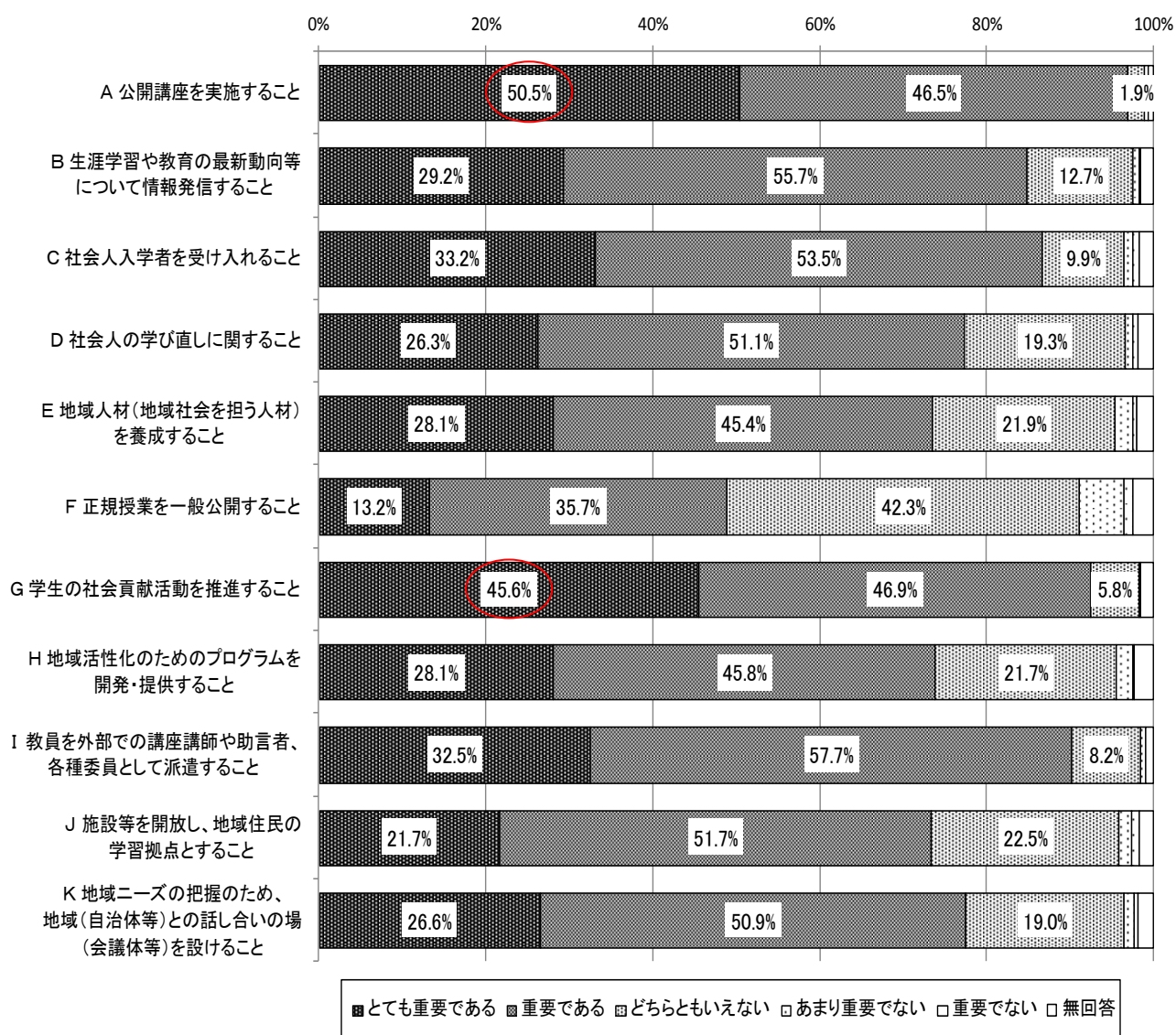


1 開かれた大学づくりに関する実施方針

(1) 地域社会に対する大学の貢献の在り方として重視する事柄

地域社会に対する大学の貢献の在り方として重視する項目をきいた。「とても重要である」との回答割合は、特に「A 公開講座を実施すること（50.5%）」、「G 学生の社会貢献活動を推進すること（45.6%）」が高かった。

図表 5 問 1 地域社会に対する大学の貢献の在り方として重視する事柄 (N=636)



【設置者別の回答状況】

設置者別に地域社会に対する大学の貢献の在り方として重視する項目をみた。「とても重要である」との回答について、「公開講座を実施すること」については『国立大学』及び『公立大学』の回答割合が、『私立大学』に比べて高かった。「学生の社会貢献」については『国立大学』の回答割合が51.4%と最も高かった。

また、「社会人の学び直しに関すること」、「地域人材を養成すること」などの地域貢献に関連する項目について「とても重要である」は『国立大学』の回答割合が高かった。

図表 6 設置者別 問1 重視する事柄【公開講座を実施すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	321 (50.5%)	296 (46.5%)	12 (1.9%)	3 (0.5%)	0 (0.0%)	4 (0.6%)
国立大学	72 (100.0%)	41 (56.9%)	31 (43.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	39 (57.4%)	26 (38.2%)	0 (0.0%)	3 (4.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
私立大学	494 (100.0%)	239 (48.4%)	239 (48.4%)	12 (2.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (0.8%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 7 設置者別 問1 重視する事柄【生涯学習や教育の最新動向等について情報発信すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	186 (29.2%)	354 (55.7%)	81 (12.7%)	4 (0.6%)	1 (0.2%)	10 (1.6%)
国立大学	72 (100.0%)	28 (38.9%)	37 (51.4%)	7 (9.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	19 (27.9%)	38 (55.9%)	8 (11.8%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (100.0%)	138 (27.9%)	278 (56.3%)	66 (13.4%)	3 (0.6%)	1 (0.2%)	8 (1.6%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 8 設置者別 問1 重視する事柄【社会人入学者を受け入れること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	211 (33.2%)	340 (53.5%)	63 (9.9%)	7 (1.1%)	4 (0.6%)	11 (1.7%)
国立大学	72 (100.0%)	33 (45.8%)	37 (51.4%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	25 (36.8%)	32 (47.1%)	8 (11.8%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (100.0%)	152 (30.8%)	270 (54.7%)	53 (10.7%)	6 (1.2%)	4 (0.8%)	9 (1.8%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 9 設置者別 問1 重視する事柄【社会人の学び直しに関すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	167 (26.3%)	325 (51.1%)	123 (19.3%)	6 (0.9%)	3 (0.5%)	12 (1.9%)
国立大学	72 (100.0%)	29 (40.3%)	33 (45.8%)	9 (12.5%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	24 (35.3%)	33 (48.5%)	8 (11.8%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (100.0%)	113 (22.9%)	259 (52.4%)	105 (21.3%)	4 (0.8%)	3 (0.6%)	10 (2.0%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 10 設置者別 問1 重視する事柄【地域人材を養成すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	179 (28.1%)	289 (45.4%)	139 (21.9%)	14 (2.2%)	2 (0.3%)	13 (2.0%)
国立大学	72 (100.0%)	40 (55.6%)	25 (34.7%)	7 (9.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	24 (35.3%)	29 (42.6%)	12 (17.6%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (100.0%)	113 (22.9%)	235 (47.6%)	120 (24.3%)	13 (2.6%)	2 (0.4%)	11 (2.2%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 11 設置者別 問1 重視する事柄【正規授業を一般公開すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	84 (13.2%)	227 (35.7%)	269 (42.3%)	34 (5.3%)	7 (1.1%)	15 (2.4%)
国立大学	72 (100.0%)	14 (19.4%)	31 (43.1%)	25 (34.7%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)
公立大学	68 (100.0%)	14 (20.6%)	28 (41.2%)	22 (32.4%)	2 (2.9%)	0 (0.0%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (100.0%)	55 (11.1%)	168 (34.0%)	221 (44.7%)	31 (6.3%)	7 (1.4%)	12 (2.4%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 12 設置者別 問1 重視する事柄【学生の社会貢献活動を推進すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	290 (45.6%)	298 (46.9%)	37 (5.8%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	10 (1.6%)
国立大学	72 (100.0%)	37 (51.4%)	32 (44.4%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	24 (35.3%)	36 (52.9%)	7 (10.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.5%)
私立大学	494 (100.0%)	228 (46.2%)	229 (46.4%)	27 (5.5%)	1 (0.2%)	0 (0.0%)	9 (1.8%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 13 設置者別 問1 重視する事柄【地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	179 (28.1%)	291 (45.8%)	138 (21.7%)	13 (2.0%)	1 (0.2%)	14 (2.2%)
国立大学	72 (100.0%)	39 (54.2%)	24 (33.3%)	8 (11.1%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	24 (35.3%)	28 (41.2%)	13 (19.1%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (100.0%)	115 (23.3%)	238 (48.2%)	117 (23.7%)	11 (2.2%)	1 (0.2%)	12 (2.4%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 14 設置者別 問1 重視する事柄【教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	207 (32.5%)	367 (57.7%)	52 (8.2%)	4 (0.6%)	0 (0.0%)	6 (0.9%)
国立大学	72 (100.0%)	31 (43.1%)	39 (54.2%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	30 (44.1%)	35 (51.5%)	1 (1.5%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	1 (1.5%)
私立大学	494 (100.0%)	145 (29.4%)	292 (59.1%)	49 (9.9%)	3 (0.6%)	0 (0.0%)	5 (1.0%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 15 設置者別 問1 重視する事柄【施設等を開放し、地域住民の学習拠点とすること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	138 (21.7%)	329 (51.7%)	143 (22.5%)	10 (1.6%)	5 (0.8%)	11 (1.7%)
国立大学	72 (100.0%)	20 (27.8%)	36 (50.0%)	15 (20.8%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	20 (29.4%)	37 (54.4%)	7 (10.3%)	1 (1.5%)	1 (1.5%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (100.0%)	97 (19.6%)	256 (51.8%)	120 (24.3%)	9 (1.8%)	3 (0.6%)	9 (1.8%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

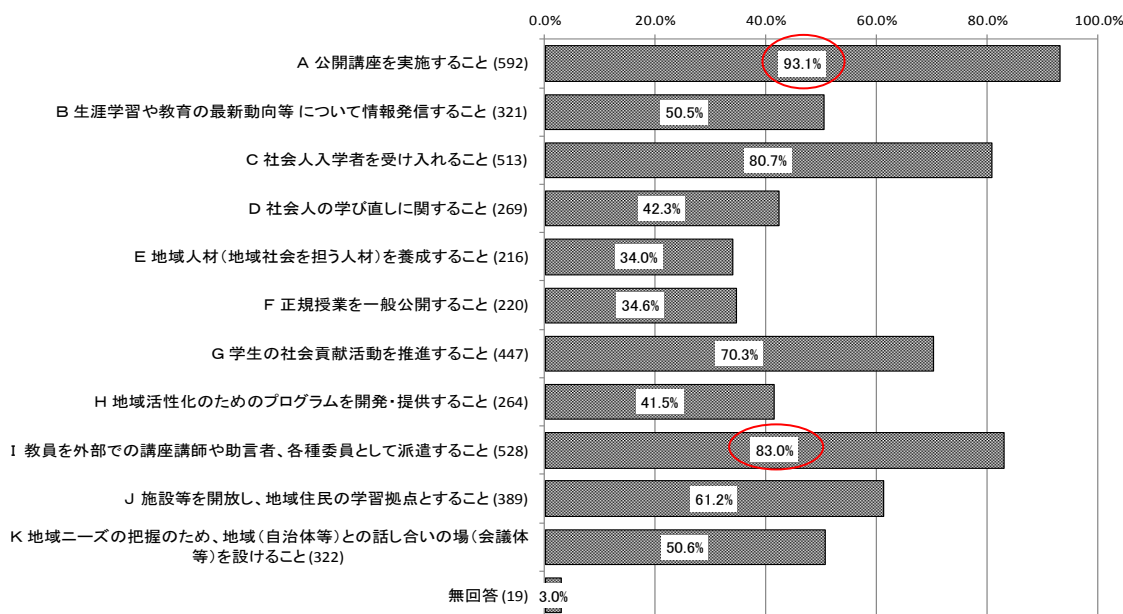
図表 16 設置者別 問1 重視する事柄【地域ニーズの把握のため、地域との話し合いの場を設けること】

	全体	とても重要である	重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	無回答
全体	636 (100.0%)	169 (26.6%)	324 (50.9%)	121 (19.0%)	8 (1.3%)	2 (0.3%)	12 (1.9%)
国立大学	72 (100.0%)	38 (52.8%)	29 (40.3%)	4 (5.6%)	0 (0.0%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	21 (30.9%)	36 (52.9%)	9 (13.2%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)	1 (1.5%)
私立大学	494 (100.0%)	109 (22.1%)	258 (52.2%)	108 (21.9%)	7 (1.4%)	1 (0.2%)	11 (2.2%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(2) 実際に取り組んでいる事柄

地域社会に対する大学の貢献として重視する項目のうち、実際に取り組んでいる事柄をきいた。「公開講座を実施すること (93.1%)」「教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること (83.0%)」の回答割合が高かった。

図表 17 問 1 実際に取り組んでいる事柄 (N=636 複数回答)



【設置者別の回答状況】

設置者別に実際に取り組んでいる事柄をみた。全ての事柄で、『国立大学』の回答割合が高い。また、一大学あたりの平均回答件数をみても、『国立大学』の平均回答件数 (9.03 件)が多い。

図表 18 設置者別 問 1 実際に取り組んでいる事柄 (複数回答)

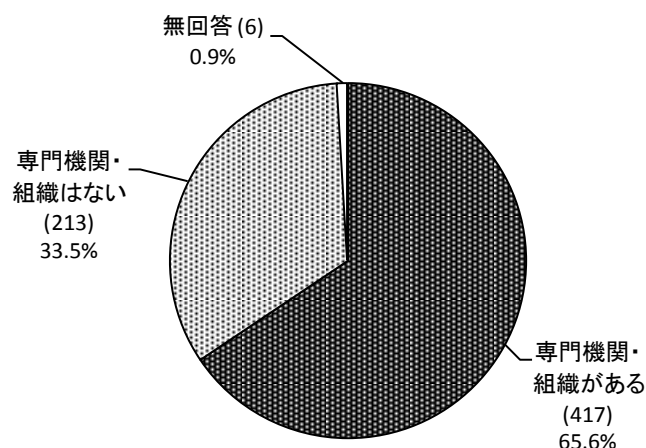
	全体	A 公開講座を実施すること	B 生涯学習や教育の最新動向等について情報発信すること	C 社会人入学者を受け入れること	D 社会人の学び直しに関すること	E 地域人材(地域社会を担う人材)を養成すること	F 正規授業を一般公開すること	G 学生の社会貢献活動を推進すること	H 地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること	I 教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること	J 施設等を開放し、地域住民の学習拠点とすること	K 地域ニーズの把握のため、地域(自治体等)との話し合いの場(会議体等)を設けること	無回答
全体	636 (6.45)	592 (93.1%)	321 (50.5%)	513 (80.7%)	269 (42.3%)	216 (34.0%)	220 (34.6%)	447 (70.3%)	264 (41.5%)	528 (83.0%)	389 (61.2%)	322 (50.6%)	19 (3.0%)
国立大学	72 (9.03)	71 (98.6%)	58 (80.6%)	68 (94.4%)	51 (70.8%)	54 (75.0%)	45 (62.5%)	62 (86.1%)	55 (76.4%)	69 (95.8%)	56 (77.8%)	60 (83.3%)	1 (1.4%)
公立大学	68 (7.24)	65 (95.6%)	39 (57.4%)	55 (80.9%)	39 (57.4%)	27 (39.7%)	31 (45.6%)	49 (72.1%)	31 (45.6%)	64 (94.1%)	51 (75.0%)	39 (57.4%)	2 (2.9%)
私立大学	494 (5.97)	454 (91.9%)	223 (45.1%)	388 (78.5%)	178 (36.0%)	135 (27.3%)	143 (28.9%)	335 (67.8%)	177 (35.8%)	394 (79.8%)	281 (56.9%)	223 (45.1%)	16 (3.2%)
その他	2 (5.50)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(3)開かれた大学づくりに関する専門機関・組織の設置状況

①公開講座に関する専門機関・組織

公開講座に関する専門機関・組織の設置状況についてきいた。「専門機関・組織がある」との回答割合は65.6%であった。

図表 19 問3 専門機関・組織(公開講座)の設置有無



【設置者別の回答状況】

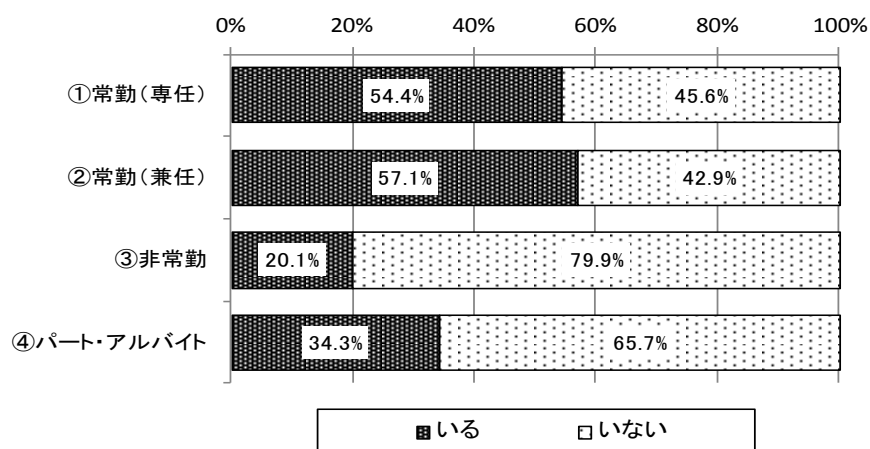
設置者別に公開講座の専門機関・組織の設置有無をみた。「専門機関・組織がある」との回答割合は『国立大学』が最も高く73.6%であった。『公立大学』及び『私立大学』も「専門機関・組織がある」との回答は過半数以上であった。

図表 20 設置者別 問3 専門機関・組織(公開講座)の設置有無

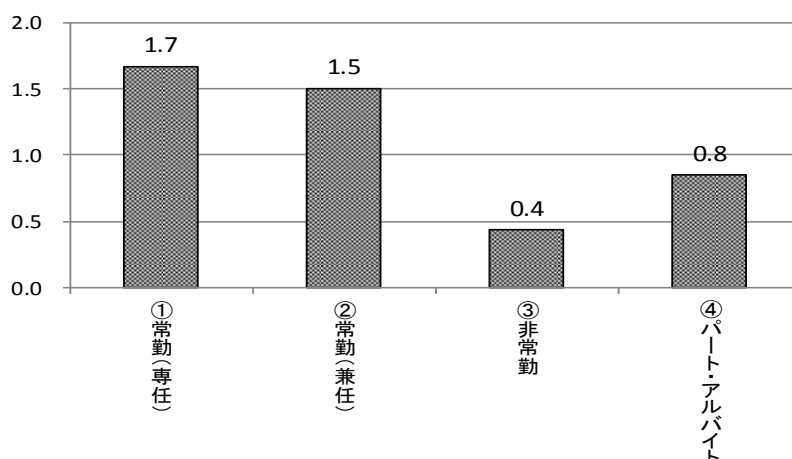
	全体	専門機関・組織がある	専門機関・組織はない	無回答
全体	636 (100.0%)	417 (65.6%)	213 (33.5%)	6 (0.9%)
国立大学	72 (100.0%)	53 (73.6%)	18 (25.0%)	1 (1.4%)
公立大学	68 (100.0%)	47 (69.1%)	20 (29.4%)	1 (1.5%)
私立大学	494 (100.0%)	315 (63.8%)	175 (35.4%)	4 (0.8%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

公開講座の専門機関・組織の事務職員の有無をみると、「①常勤(専任)」がいる割合は54.4%、「②常勤(兼任)」がいる割合は57.1%であった。なお、1大学あたりの各事務職員の平均人数をみると、「①常勤(専任)」が1.7人、「②常勤(兼任)」が1.5人となっている。昨年度の結果をみると「①常勤(専任)」「②常勤(兼任)」ともに1.6人であった。

図表 21 問 3 専門機関・組織(公開講座)の事務職員種別毎の有無(N=417)



図表 22 問 3 専門機関・組織(公開講座)の事務職員種別毎の平均人数(N=417)



【設置者別の回答状況】

設置者別に事務職員の平均人数をみた。「①常勤(専任)」は、『私立大学』の平均人数が最も多く 1.9 人であった。「②常勤(兼任)」は、『国立大学』の平均人数が最も多く 1.8 人であった。

図表 23 問 3 設置者別 専門機関・組織(公開講座)の事務職員種別毎の平均人数

①常勤(専任)			②常勤(兼任)		
	全体	平均		全体	平均
全体	417	1.7	全体	417	1.5
国立大学	53	1.1	国立大学	53	1.8
公立大学	47	0.4	公立大学	47	1.3
私立大学	315	1.9	私立大学	315	1.4
その他	2	1.0	その他	2	5.0

③非常勤			④パート・アルバイト		
	全体	平均		全体	平均
全体	417	0.4	全体	417	0.8
国立大学	53	0.7	国立大学	53	0.6
公立大学	47	0.5	公立大学	47	0.4
私立大学	315	0.4	私立大学	315	1.0
その他	2	0.0	その他	2	0.0

【分析: 専門機関・組織(公開講座)の設置有無別 実際に取り組んでいる事柄】

● 公開講座の専門機関・組織の設置有無別に実際に取り組んでいる事柄をみた結果、公開講座の専門機関・組織がある方が、全ての項目において取り組んでいる割合が高かった。

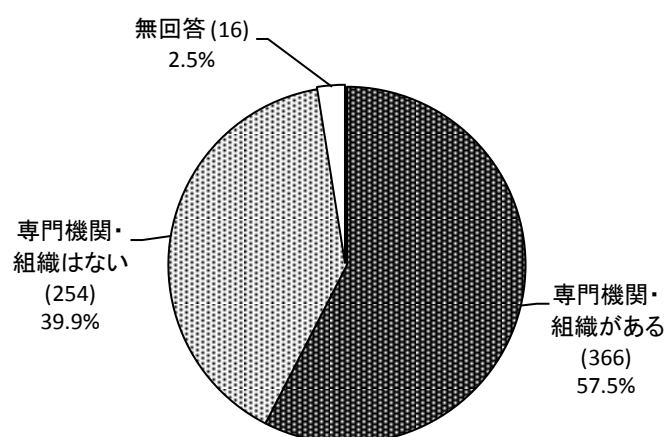
図表 24 問 3 専門機関・組織(公開講座)の設置有無別 問 1 実際に取り組んでいる事柄

	全体	A 公開講座を実施すること	B 生涯学習や教育の最新動向等について情報発信すること	C 社会人入学者を受け入れること	D 社会人の学び直しに関すること	E 地域人材(地域社会を担う人材)を養成すること	F 正規授業を一般公開すること	G 学生の社会貢献活動を推進すること	H 地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること	I 教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること	J 施設等を開放し、地域住民の学習拠点とする	K 地域ニーズの把握のため、地域(自治体等)との話し合いの場(会議体等)を設けること	無回答
全体	636 (6.45)	592 (93.1%)	321 (50.5%)	513 (80.7%)	269 (42.3%)	216 (34.0%)	220 (34.6%)	447 (70.3%)	264 (41.5%)	528 (83.0%)	389 (61.2%)	322 (50.6%)	19 (3.0%)
専門機関・組織がある	417 (7.10)	405 (97.1%)	241 (57.8%)	360 (86.3%)	205 (49.2%)	165 (39.6%)	165 (39.6%)	325 (77.9%)	196 (47.0%)	364 (87.3%)	281 (67.4%)	244 (58.5%)	8 (1.9%)
専門機関・組織はない	213 (5.24)	185 (86.9%)	79 (37.1%)	152 (71.4%)	62 (29.1%)	50 (23.5%)	52 (24.4%)	120 (56.3%)	66 (31.0%)	161 (75.6%)	104 (48.8%)	77 (36.2%)	9 (4.2%)
無回答	6 (4.00)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	3 (50.0%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)

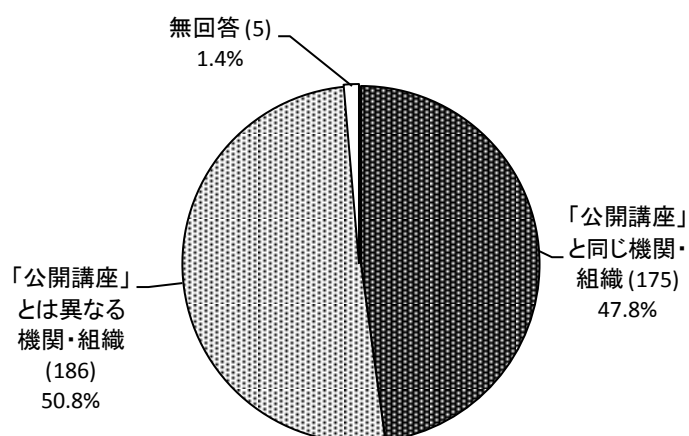
②地域連携に関する専門機関・組織

地域連携に関する専門機関・組織の設置状況をきいた。「専門機関・組織がある」との回答割合は 57.5%であった。また、上述の公開講座に関する専門機関・組織と同様の機関・組織であるかきいたところ、「公開講座」と同じ機関・組織、「公開講座」とは異なる機関・組織」それぞれ半数程度の回答割合であった。

図表 25 問3 専門機関・組織(地域連携)の設置有無



図表 26 問3 専門機関・組織(地域連携)の設置状況



【設置者別の回答状況】

設置者別に地域連携に関する専門機関・組織の設置有無をみた。「専門機関・組織がある」との回答割合は『国立大学』及び『公立大学』が高かった。

また、当該専門機関・組織が公開講座と同じ機関・組織かどうかをみると、「公開講座」と同じ機関・組織であるとの回答割合は、『公立大学』が高く 55.4%であった。一方、「公開講座」とは異なる機関・組織であるとの回答割合は『国立大学』が高く 55.7%であった。

図表 27 設置者別 問3 専門機関・組織(地域連携)の設置有無

	全体	専門機関・組織がある	専門機関・組織はない	無回答
全体	636 (100.0%)	366 (57.5%)	254 (39.9%)	16 (2.5%)
国立大学	72 (100.0%)	61 (84.7%)	10 (13.9%)	1 (1.4%)
公立大学	68 (100.0%)	56 (82.4%)	11 (16.2%)	1 (1.5%)
私立大学	494 (100.0%)	248 (50.2%)	232 (47.0%)	14 (2.8%)
その他	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)

図表 28 設置者別 問3 専門機関・組織(地域連携)の設置状況

	全体	「公開講座」と同じ機関・組織	「公開講座」とは異なる機関・組織	無回答
全体	366 (100.0%)	175 (47.8%)	186 (50.8%)	5 (1.4%)
国立大学	61 (100.0%)	27 (44.3%)	34 (55.7%)	0 (0.0%)
公立大学	56 (100.0%)	31 (55.4%)	25 (44.6%)	0 (0.0%)
私立大学	248 (100.0%)	117 (47.2%)	126 (50.8%)	5 (2.0%)
その他	1 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)

【分析: 専門機関・組織(地域連携)の設置有無別 実際に取り組んでいる事柄】

● 地域連携の専門機関・組織の設置有無別に実際に取り組んでいる事柄をみた結果、地域連携の専門機関・組織がある方が、全ての項目において取り組んでいる割合が高かった。

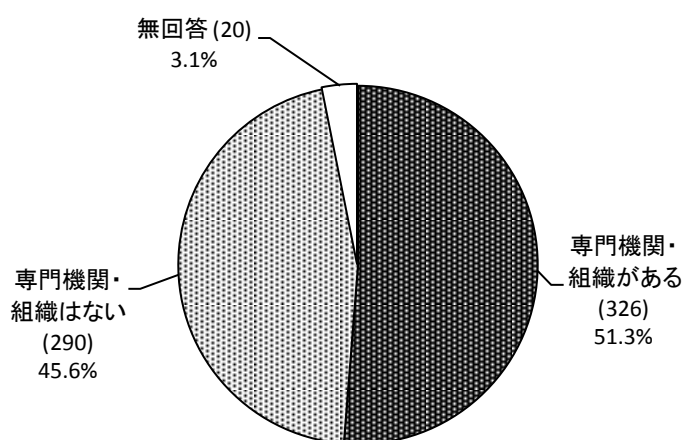
図表 29 問 3 専門機関・組織(地域連携)の設置有無別 問 1 実際に取り組んでいる事柄

	全体	A 公開講座を実施すること	B 生涯学習や教育の最新動向等について情報発信すること	C 社会人入学者を受け入れること	D 社会人の学び直しに関すること	E 地域人材(地域社会を担う人材)を養成すること	F 正規授業を一般公開すること	G 学生の社会貢献活動を推進すること	H 地域活性化のためのプログラムを開発・提供すること	I 教員を外部での講座講師や助言者、各種委員として派遣すること	J 施設等を開放し、地域住民の学習拠点とすること	K 地域ニーズの把握のため、地域(自治体等)との話し合いの場(会議体等)を設けること	無回答
全体	636 (6.45)	592 (93.1%)	321 (50.5%)	513 (80.7%)	269 (42.3%)	216 (34.0%)	220 (34.6%)	447 (70.3%)	264 (41.5%)	528 (83.0%)	389 (61.2%)	322 (50.6%)	19 (3.0%)
専門機関・組織がある	366 (7.31)	347 (94.8%)	212 (57.9%)	316 (86.3%)	187 (51.1%)	161 (44.0%)	153 (41.8%)	292 (79.8%)	191 (52.2%)	326 (89.1%)	253 (69.1%)	227 (62.0%)	9 (2.5%)
専門機関・組織はない	254 (5.31)	232 (91.3%)	103 (40.6%)	189 (74.4%)	76 (29.9%)	52 (20.5%)	61 (24.0%)	148 (58.3%)	68 (26.8%)	195 (76.8%)	128 (50.4%)	89 (35.0%)	7 (2.8%)
無回答	16 (4.88)	13 (81.3%)	6 (37.5%)	8 (50.0%)	6 (37.5%)	3 (18.8%)	6 (37.5%)	7 (43.8%)	5 (31.3%)	7 (43.8%)	8 (50.0%)	6 (37.5%)	3 (18.8%)

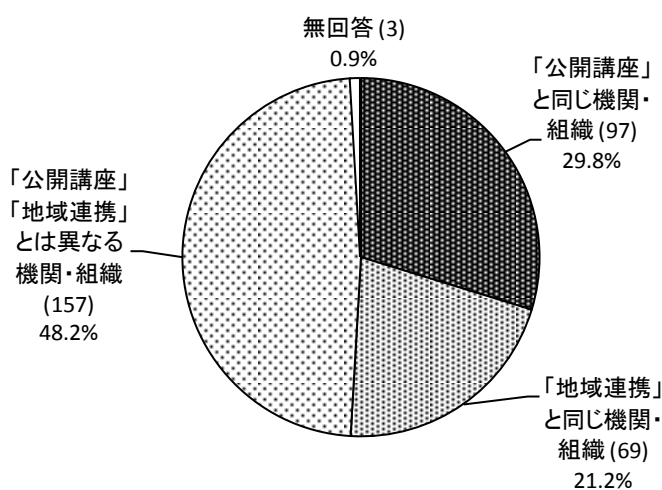
③産学連携に関する専門機関・組織

産学連携に関する専門機関・組織の設置状況をきいた。「専門機関・組織がある」との回答割合は 51.3%であった。また、上述の公開講座・地域連携に関する専門機関・組織と同様の機関・組織であるかきいたところ、「公開講座」と同じ組織・機関」との回答割合は 29.8%、「地域連携」と同じ組織・機関」との回答割合は 21.2%、「公開講座」「地域連携」とは異なる機関・組織」との回答割合は 48.2%であった。

図表 30 問3 専門機関・組織(産学連携)の設置有無



図表 31 問3 専門機関・組織(産学連携)の設置状況



【設置者別の回答状況】

設置者別に産学連携に関する専門機関・組織の設置有無をみた。「専門機関・組織がある」との回答割合は『国立大学』が高く、91.7%であった。

また、当該専門機関・組織が他の専門機関・組織と同じかどうかをみると、「公開講座」と同じ機関・組織であるとの回答割合は、『公立大学』が高く50.0%であった。「地域連携」と同じ機関・組織であるとの回答割合は、『国立大学』が高かった（但し、大きな差はない）。また、「公開講座」「地域連携」とは異なる機関・組織であるとの回答割合は『国立大学』の回答割合が高く60.6%であった。

図表 32 設置者別 問3 専門機関・組織(産学連携)の設置有無

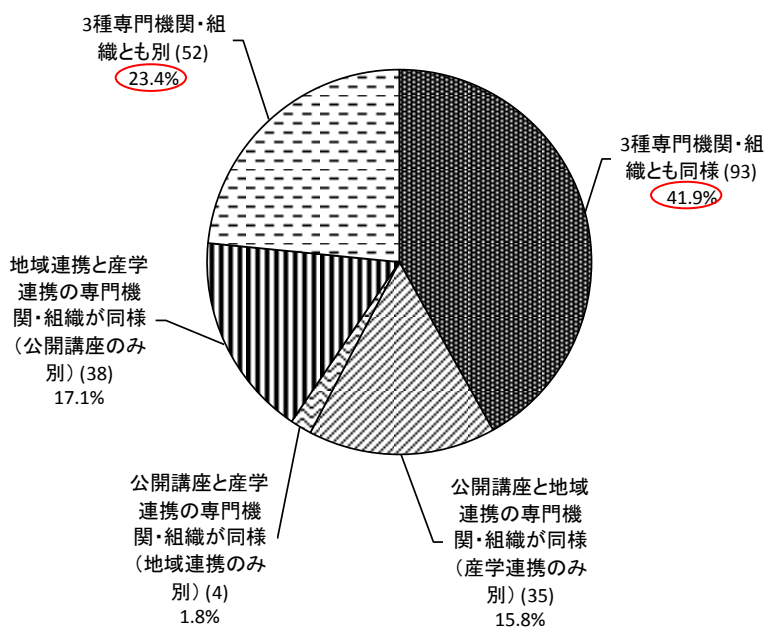
	全体	専門機関・組織がある	専門機関・組織はない	無回答
全体	636 (100.0%)	326 (51.3%)	290 (45.6%)	20 (3.1%)
国立大学	72 (100.0%)	66 (91.7%)	6 (8.3%)	0 (0.0%)
公立大学	68 (100.0%)	46 (67.6%)	19 (27.9%)	3 (4.4%)
私立大学	494 (100.0%)	212 (42.9%)	265 (53.6%)	17 (3.4%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 33 設置者別 問3 専門機関・組織(産学連携)の設置状況

	全体	「公開講座」と同じ機関・組織	「地域連携」と同じ機関・組織	「公開講座」「地域連携」とは異なる機関・組織	無回答
全体	326 (100.0%)	97 (29.8%)	69 (21.2%)	157 (48.2%)	3 (0.9%)
国立大学	66 (100.0%)	10 (15.2%)	16 (24.2%)	40 (60.6%)	0 (0.0%)
公立大学	46 (100.0%)	23 (50.0%)	10 (21.7%)	13 (28.3%)	0 (0.0%)
私立大学	212 (100.0%)	64 (30.2%)	43 (20.3%)	102 (48.1%)	3 (1.4%)
その他	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)

上記の「公開講座」「地域連携」「産学連携」それぞれの機関・組織の設置状況を踏まえると、最も多いケースとして「3種専門機関・組織とも同様（41.9%）」。また、次に多いケースとして「3種専門機関・組織とも別（23.4%）」が挙げられる。最も少ないケースは「公開講座と産学連携の専門機関・組織が同様（地域連携のみ別）（1.8%）」であった。

図表 34 問 3 各専門機関・組織の有無状況



【設置者別の回答状況】

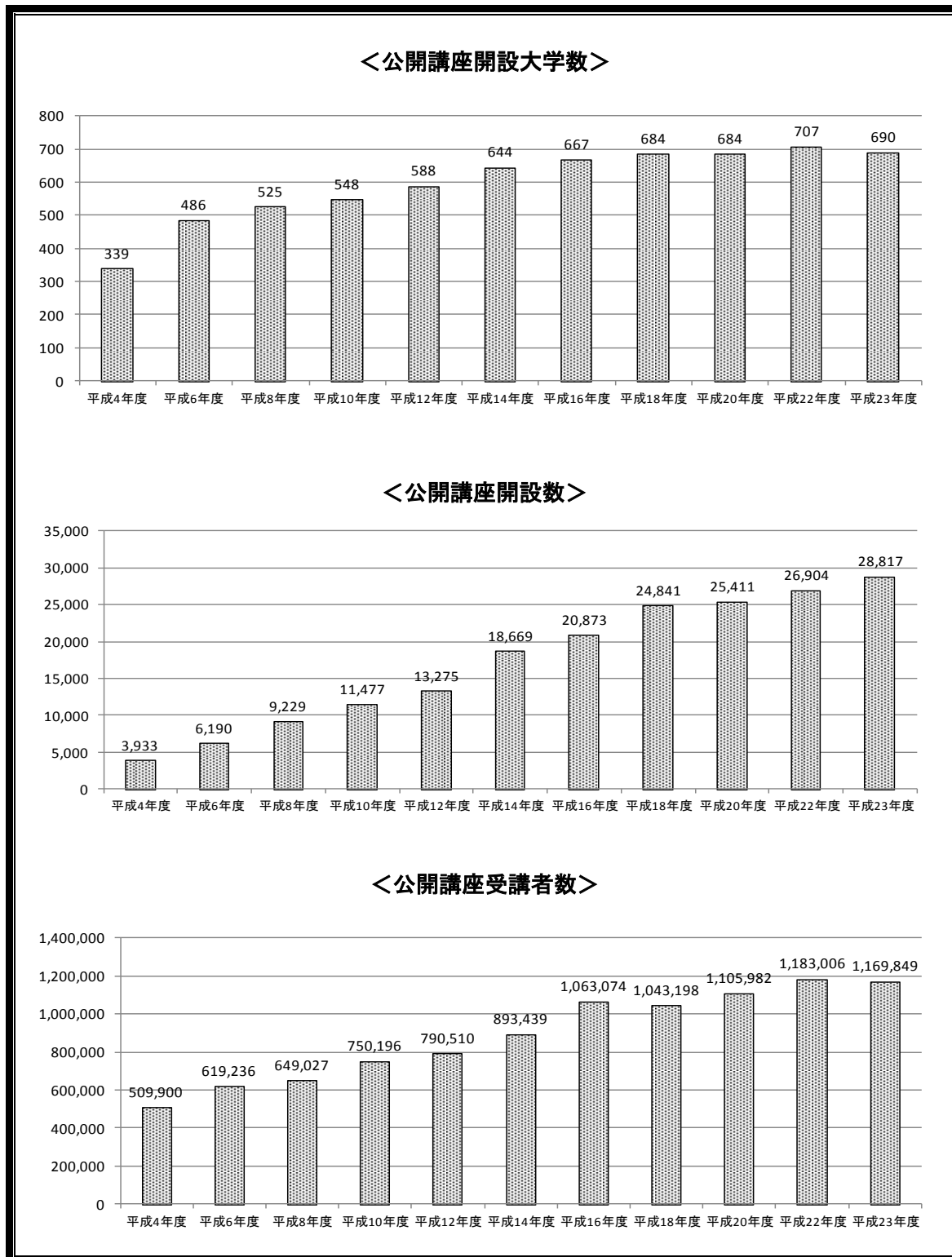
上記の各専門機関・組織の有無状況を設置者別にみた。「3種専門機関・組織とも同様」については、特に『公立大学』の割合が高かった（69.7%）。「3種専門機関・組織とも別」については、設置者別に大きな傾向の差はなかった。

図表 35 設置者別 問 3 各専門機関・組織の有無状況

	全体	3種専門機関・組織とも同様	公開講座と地域連携の専門機関・組織が同様（産学連携のみ別）	公開講座と産学連携の専門機関・組織が同様（地域連携のみ別）	地域連携と産学連携の専門機関・組織が同様（公開講座のみ別）	3種専門機関・組織とも別
全体	222	93	35	4	38	52
	(100.0%)	(41.9%)	(15.8%)	(1.8%)	(17.1%)	(23.4%)
国立大学	49	11	14	0	10	14
	(100.0%)	(22.4%)	(28.6%)	(0.0%)	(20.4%)	(28.6%)
公立大学	33	23	1	0	2	7
	(100.0%)	(69.7%)	(3.0%)	(0.0%)	(6.1%)	(21.2%)
私立大学	139	59	20	4	26	30
	(100.0%)	(42.4%)	(14.4%)	(2.9%)	(18.7%)	(21.6%)
その他	1	0	0	0	0	1
	(100.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(100.0%)

2 公開講座の実施状況

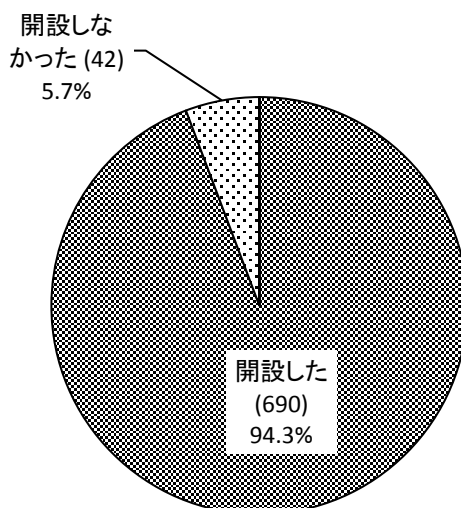
【公開講座開設状況の変遷（大学のみ）】



(1)公開講座の開設有無

平成 23 年度の公開講座の開設有無をきいた。「開設した」との回答割合は 94.3%（昨年度：95.2%）であった。昨年度と比較しても大きな差はない。

図表 36 問 4 平成 23 年度の公開講座開設有無



【設置者別の回答状況】

設置者別に平成 23 年度の公開講座開設有無をみた。『国立大学』及び『公立大学』の「開設した」との割合が、『私立大学』に比べて高かった。

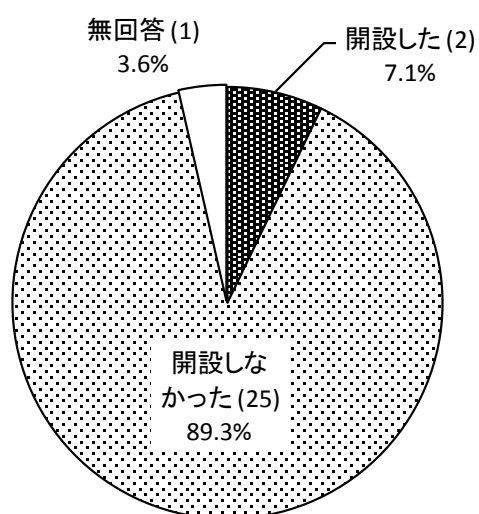
図表 37 設置者別 問 4 平成 23 年度の公開講座開設有無

	全体	開設した	開設しなかった	無回答
全体	732 (100.0%)	690 (94.3%)	42 (5.7%)	0 (0.0%)
国立大学	83 (100.0%)	82 (98.8%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
公立大学	77 (100.0%)	75 (97.4%)	2 (2.6%)	0 (0.0%)
私立大学	569 (100.0%)	530 (93.1%)	39 (6.9%)	0 (0.0%)
その他	3 (100.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

《参考》

平成 23 年度に公開講座を開設しなかった大学に、平成 22 年度（前年度）の公開講座の開設有無をきいたところ、「開設した」との回答割合は 7.1%（2 大学）であった。当該大学に公開講座を開設しなくなった理由をきいたところ、理由として震災の影響等が挙げられた。

図表 38 問 4 平成 23 年度の公開講座を開設しなかった大学の平成 22 年度の開設状況



(2)公開講座の講座数・受講者数**①合計講座数・受講者数****■開設講座数**

平成 23 年度の公開講座の総講座数は「28,817 講座」であった。平成 22 年度の総講座数 (26,904 講座) と比較すると大きく増加しているといえる。

【設置者別の回答状況】

設置者別に平成 23 年度の公開講座開設数をみた。特に『私立大学』の平均開設講座数が多く、1 大学あたり平均 46.6 講座であった。

図表 39 設置者別 問 5 開設講座数(講座)

	全体	合計	平均
全体	677	28,817	42.6
国立大学	81	2,635	32.5
公立大学	75	1,921	25.6
私立大学	518	24,161	46.6
その他	3	100	33.3

■受講者数

平成 23 年度の公開講座の総受講者は「1,169,849 人」であった。平成 22 年度と比較すると特に大きな変化はなかった

【設置者別の回答状況】

設置者別に平成 23 年度の公開講座受講者数をみた。特に『国立大学』の平均受講者数が多く、1 大学あたり平均 1,987 人であった。

図表 40 設置者別 問 5 受講者数(人)

	全体	合計	平均
全体	673	1,169,849	1,738.3
国立大学	82	162,989	1,987.7
公立大学	73	106,375	1,457.2
私立大学	515	896,546	1,740.9
その他	3	3,939	1,313.0

②カテゴリー別の詳細

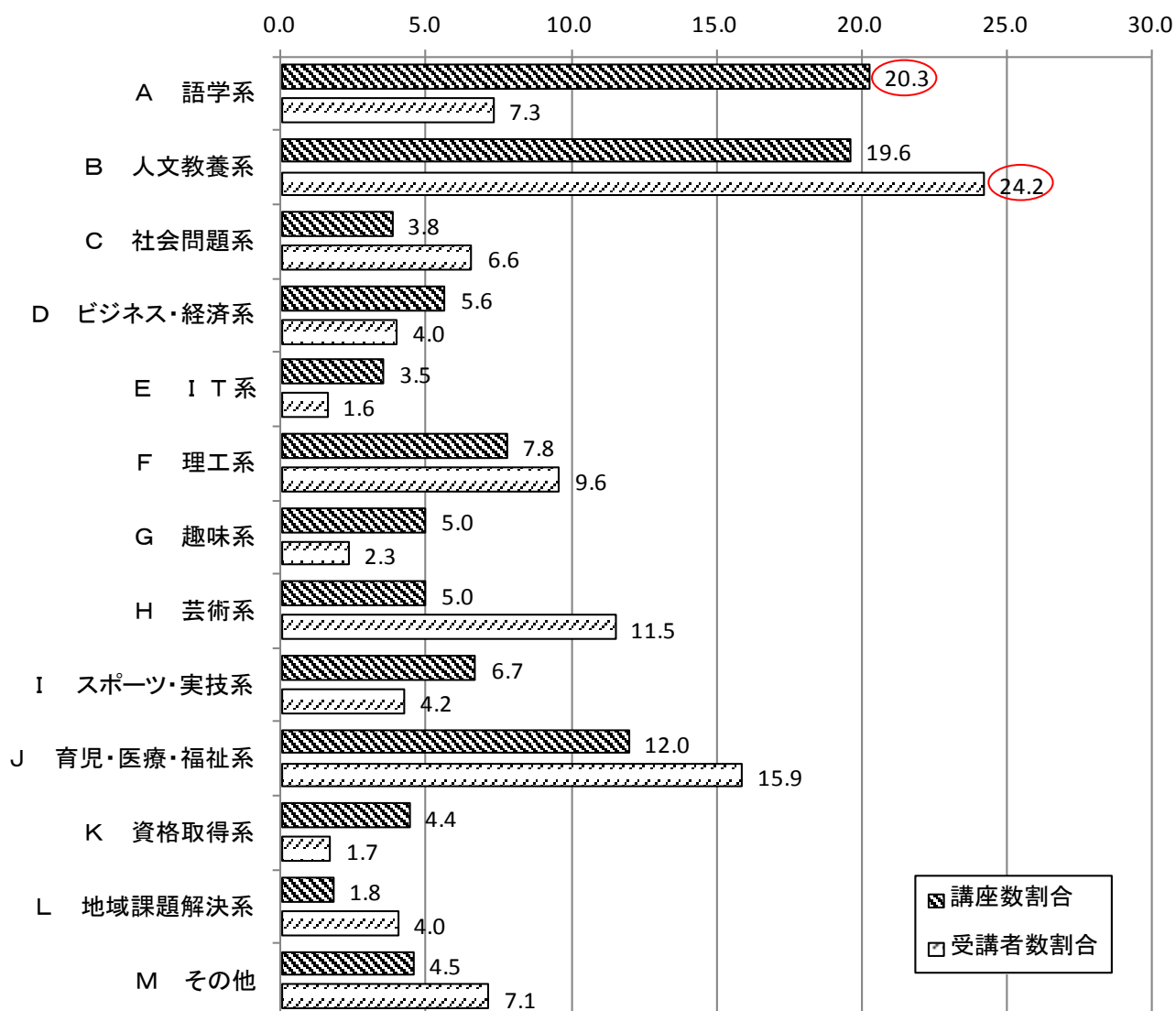
公開講座のカテゴリー別講座数・受講者数の割合をみた（総講座数・受講者数を100%とした場合の各カテゴリーの公開講座件数・受講者数が占める割合）。

『講座数割合』については「A 語学系」の割合が最も高く 20.3%であった。次いで「B 人文教養系（19.6%）」の割合が高い。

一方、『受講者数割合』については「人文教養系」の割合が最も高く 24.2%であった。次いで「育児・医療・福祉系（15.9%）」、「H 芸術系（11.5%）」の割合が高い。

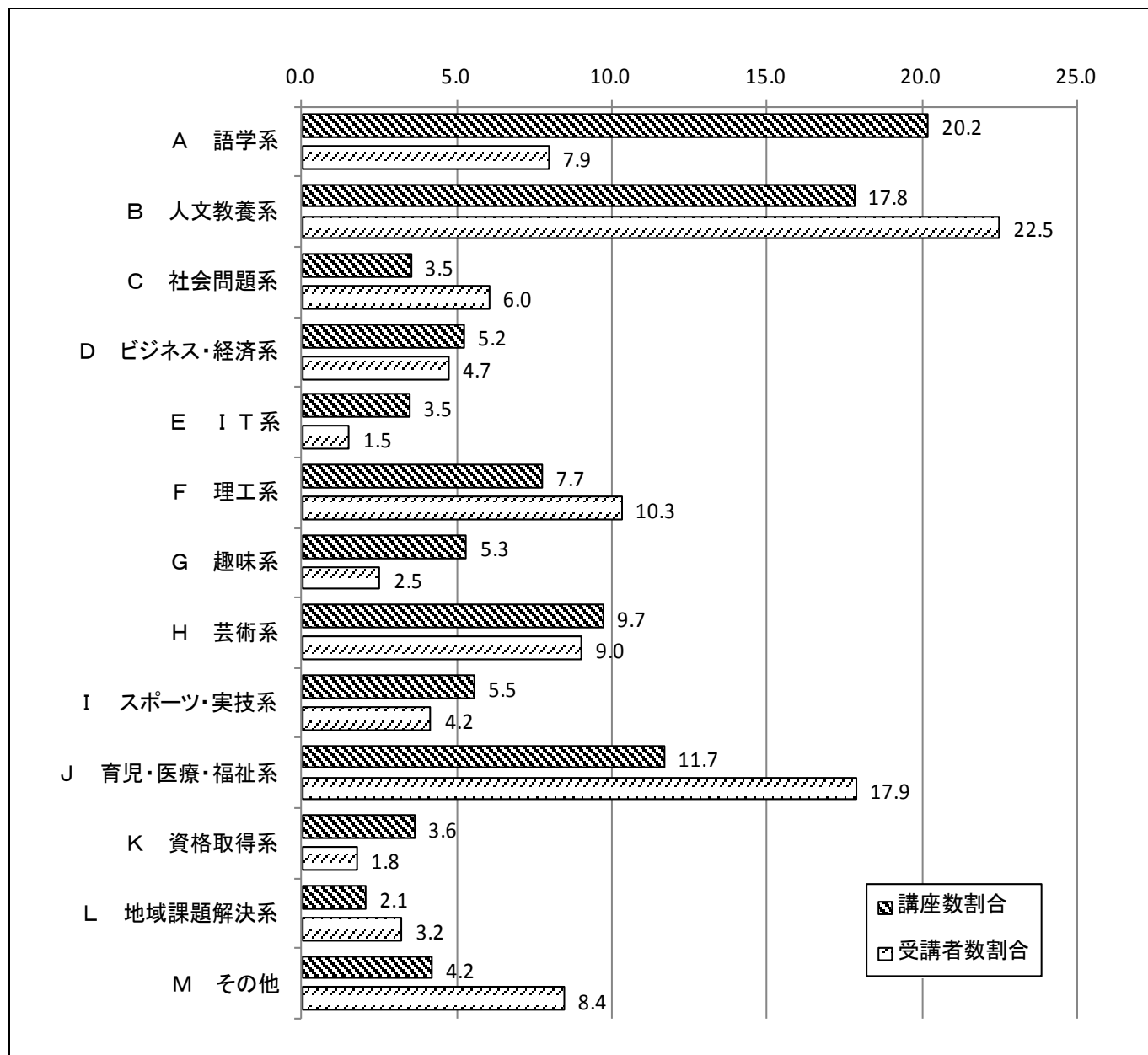
図表 41 問 5 平成 23 年度 講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリー毎の割合

（講座数：N=595 受講者数：N=592）



【参考:平成 22 年度 講座数総計及び受講者数総計に占めるカテゴリ毎の割合 N=653】

(講座数:N=653 受講者数:N=654)



【設置者別の回答状況 講座数】

設置者別にカテゴリー毎の公開講座開設数をみた。多くのカテゴリーにおいて『私立大学』の平均開設講座数が多い。「C 社会問題系 (2.0 講座)」、「F 理工系 (8.3 講座)」については、『国立大学』の平均開設講座数が多かった。また、「J 育児・医療・福祉系 (6.2 講座)」
「L 地域課題解決系 (1.4 講座)」については、『公立大学』の平均開設講座数が多かった。

図表 42 設置者別 問5 講座数

A 語学系	全体	合計	平均	B 人文教養系	全体	合計	平均
全体	595	4,654	7.8	全体	595	4,508	7.6
国立大学	71	196	2.8	国立大学	71	245	3.5
公立大学	66	167	2.5	公立大学	66	267	4.0
私立大学	456	4,286	9.4	私立大学	456	3,991	8.8
その他	2	5	2.5	その他	2	5	2.5
C 社会問題系	全体	合計	平均	D ビジネス・経済系	全体	合計	平均
全体	595	876	1.5	全体	595	1,296	2.2
国立大学	71	143	2.0	国立大学	71	60	0.8
公立大学	66	107	1.6	公立大学	66	104	1.6
私立大学	456	626	1.4	私立大学	456	1,118	2.5
その他	2	0	0.0	その他	2	14	7.0
E IT系	全体	合計	平均	F 理工系	全体	合計	平均
全体	595	812	1.4	全体	595	1,784	3.0
国立大学	71	79	1.1	国立大学	71	590	8.3
公立大学	66	92	1.4	公立大学	66	182	2.8
私立大学	456	640	1.4	私立大学	456	1,011	2.2
その他	2	1	0.5	その他	2	1	0.5
G 趣味系	全体	合計	平均	H 芸術系	全体	合計	平均
全体	595	1,143	1.9	全体	595	2,759	4.6
国立大学	71	73	1.0	国立大学	71	195	2.7
公立大学	66	49	0.7	公立大学	66	111	1.7
私立大学	456	1,021	2.2	私立大学	456	2,428	5.3
その他	2	0	0.0	その他	2	25	12.5
I スポーツ系・実技系	全体	合計	平均	J 育児・医療・福祉系	全体	合計	平均
全体	595	1,539	2.6	全体	595	2,756	4.6
国立大学	71	113	1.6	国立大学	71	331	4.7
公立大学	66	55	0.8	公立大学	66	412	6.2
私立大学	456	1,371	3.0	私立大学	456	2,013	4.4
その他	2	0	0.0	その他	2	0	0.0
K 資格取得系	全体	合計	平均	L 地域課題解決系	全体	合計	平均
全体	595	1,012	1.7	全体	595	413	0.7
国立大学	71	22	0.3	国立大学	71	85	1.2
公立大学	66	13	0.2	公立大学	66	90	1.4
私立大学	456	973	2.1	私立大学	456	238	0.5
その他	2	4	2.0	その他	2	0	0.0

【設置者別の回答状況 受講者数】

設置者別にカテゴリー毎の公開講座受講者数をみた。『国立大学』については、「C 社会問題系（120.6人）」、「F 理工系（585.6人）」、「J 育児・医療・福祉系（420.2人）」の平均受講者数が多かった。『公立大学』については、「A 語学系（141.0人）」、「D ビジネス・経済系（103.0人）」、「E IT系（47.8人）」、「L 地域課題系（155.1人）」の平均受講者数が多かった。また『私立大学』については、「B 人文教養系（453.2人）」、「G 趣味系（46.2人）」、「H 芸術系（225.4人）」、「I スポーツ・実技系（78.1人）」、「K 資格取得系（35.8人）」の平均受講者数が多かった。

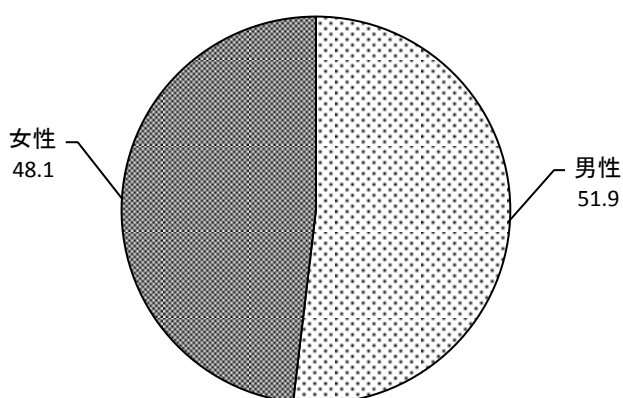
図表 43 設置者別 問5 受講者数

A 語学系	全体	合計	平均	B 人文教養系	全体	合計	平均
全体	592	73,972	125.0	全体	592	245,075	414.0
国立大学	72	3,342	46.4	国立大学	72	19,368	269.0
公立大学	63	8,884	141.0	公立大学	63	19,016	301.8
私立大学	455	61,596	135.4	私立大学	455	206,216	453.2
その他	2	150	75.0	その他	2	475	237.5
C 社会問題系	全体	合計	平均	D ビジネス・経済系	全体	合計	平均
全体	592	66,475	112.3	全体	592	40,315	68.1
国立大学	72	8,683	120.6	国立大学	72	3,710	51.5
公立大学	63	5,256	83.4	公立大学	63	6,489	103.0
私立大学	455	52,536	115.5	私立大学	455	29,676	65.2
その他	2	0	0.0	その他	2	440	220.0
E IT系	全体	合計	平均	F 理工系	全体	合計	平均
全体	592	15,996	27.0	全体	592	96,924	163.7
国立大学	72	1,741	24.2	国立大学	72	42,161	585.6
公立大学	63	3,012	47.8	公立大学	63	9,086	144.2
私立大学	455	11,143	24.5	私立大学	455	45,637	100.3
その他	2	100	50.0	その他	2	40	20.0
G 趣味系	全体	合計	平均	H 芸術系	全体	合計	平均
全体	592	23,481	39.7	全体	592	116,630	197.0
国立大学	72	1,748	24.3	国立大学	72	6,579	91.4
公立大学	63	732	11.6	公立大学	63	7,143	113.4
私立大学	455	21,001	46.2	私立大学	455	102,564	225.4
その他	2	0	0.0	その他	2	344	172.0
I スポーツ系・実技系	全体	合計	平均	J 育児・医療・福祉系	全体	合計	平均
全体	592	42,932	72.5	全体	592	160,860	271.7
国立大学	72	5,047	70.1	国立大学	72	30,254	420.2
公立大学	63	2,362	37.5	公立大学	63	25,110	398.6
私立大学	455	35,523	78.1	私立大学	455	105,496	231.9
その他	2	0	0.0	その他	2	0	0.0
K 資格取得系	全体	合計	平均	L 地域課題解決系	全体	合計	平均
全体	592	17,166	29.0	全体	594	36,104	60.8
国立大学	72	629	8.7	国立大学	72	6,146	85.4
公立大学	63	173	2.7	公立大学	64	9,926	155.1
私立大学	455	16,278	35.8	私立大学	456	20,032	43.9
その他	2	86	43.0	その他	2	0	0.0

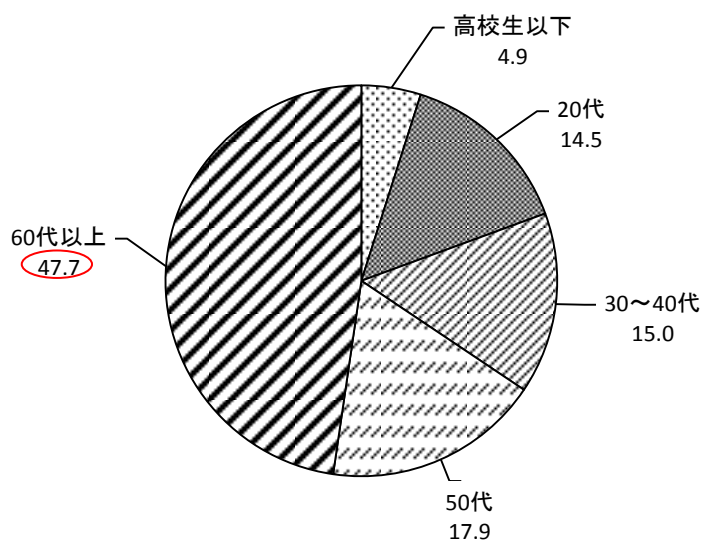
③地域課題解決系講座の受講者層

地域課題解決系公開講座の受講者層についてきいた。性別については男女半々程度であった。また年代については、「60代以上」の割合が最も高く47.7%であった。次いで「50代（17.9%）」、「30~40代（15.0%）」の割合が高かった。

図表 44 問 6 地域課題解決系公開講座の受講者層・性別 (N=121)



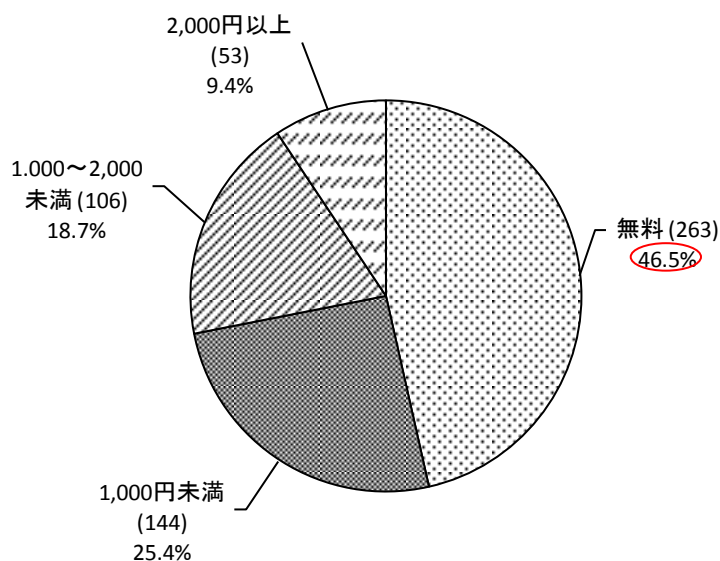
図表 45 問 6 地域課題解決系公開講座の受講者層・年代 (N=117)



(3) 受講料設定

公開講座の基本的な受講料設定(1時間あたり)をきいた。「無料」の割合が最も高く 46.5%であった。次いで「1,000円未満 (25.4%)」の割合が高かった。

図表 46 問7 公開講座の基本的な受講料設定(1時間あたり)



【設置者別の回答状況】

設置者別に受講料設定をみた。特に国立大学の平均受講料設定が高く「1,382円」であった。

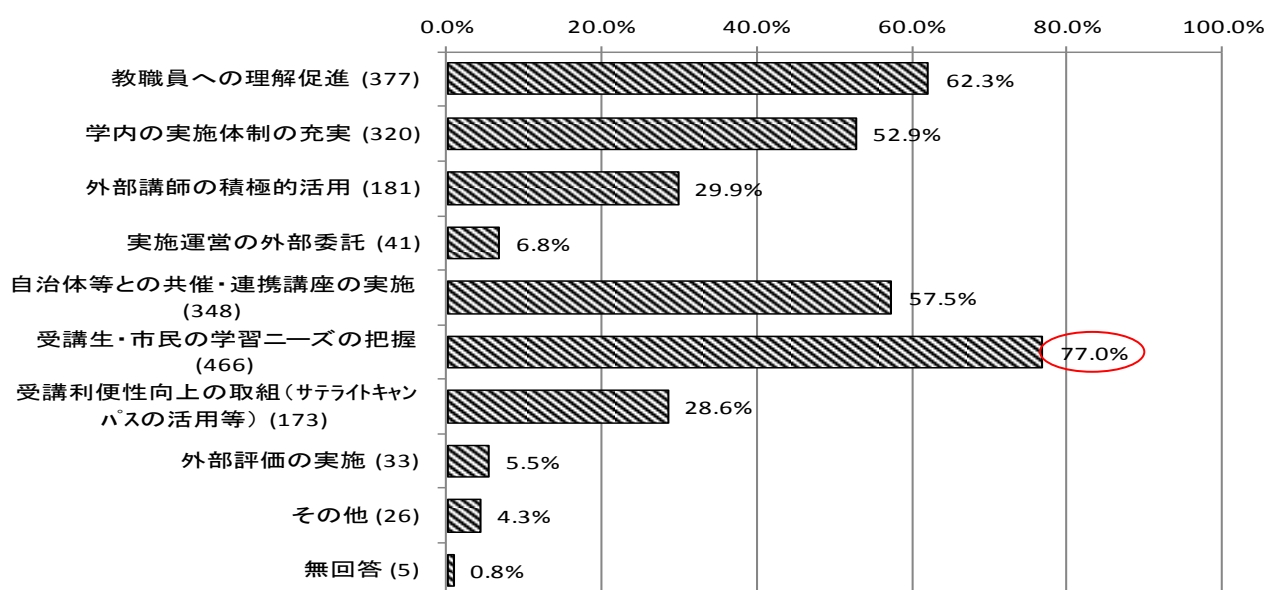
図表 47 設置者別 問7 基本的な受講料設定(平均)

	全体	平均
全体	566	717.0
国立大学	61	1382.0
公立大学	63	429.8
私立大学	440	667.9
その他	2	289.0

(4) 公開講座の実施に際しての取組

公開講座の実施に際しての取組をきいた。「受講者・市民の学習ニーズの把握」の割合が最も高く 77.0%（昨年度：65.8%）であった。次いで「教職員への理解促進」の割合が高く 62.3%（昨年度：57.4%）であった。どちらも昨年度と比較すると割合が高くなっている。なお、「受講生の利便性向上の取組」については 28.6%（昨年度：21.5%）であり、当該取組も昨年度と比較して割合が高くなっている。

図表 48 問 8 公開講座実施に際しての取組



【設置者別の回答状況】

設置者別の回答状況については、特に『国立大学』の「学内の実施体制の充実 (62.5%)」、「受講生・市民の学習ニーズの把握 (90.3%)」、「外部評価の実施 (13.9%)」の割合が平均値に比して高かった。

図表 49 設置者別 問 8 公開講座実施に際しての取組

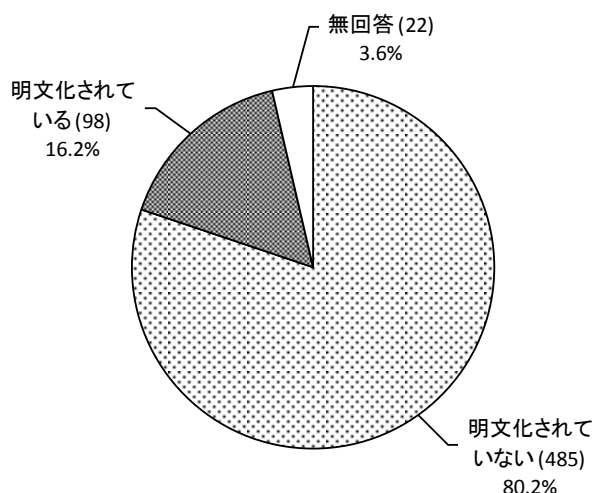
	全体	教職員への理解促進	学内の実施体制の充実	外部講師の積極的活用	実施運営の外部委託	自治体等との共催・連携講座の実施	受講生・市民の学習ニーズの把握	受講利便性向上の取組 (サテライトキャンパスの活用等)	外部評価の実施	その他	無回答
全体	605 (3.26)	377 (62.3%)	320 (52.9%)	181 (29.9%)	41 (6.8%)	348 (57.5%)	466 (77.0%)	173 (28.6%)	33 (5.5%)	26 (4.3%)	5 (0.8%)
国立大学	72 (3.85)	48 (66.7%)	45 (62.5%)	23 (31.9%)	6 (8.3%)	42 (58.3%)	65 (90.3%)	32 (44.4%)	10 (13.9%)	6 (8.3%)	0 (0.0%)
公立大学	66 (3.24)	42 (63.6%)	39 (59.1%)	18 (27.3%)	1 (1.5%)	35 (53.0%)	54 (81.8%)	19 (28.8%)	4 (6.1%)	1 (1.5%)	1 (1.5%)
私立大学	465 (3.16)	285 (61.3%)	234 (50.3%)	139 (29.9%)	33 (7.1%)	271 (58.3%)	345 (74.2%)	120 (25.8%)	19 (4.1%)	18 (3.9%)	4 (0.9%)
その他	2 (5.50)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)

(5) 教員の公開講座への貢献に対する人事評価

① 学内規定での公開講座業務に関する評価の明文化状況

学内規定における公開講座に関する評価の明文化状況についてきいた。「明文化されていない」との回答割合は80.2%であった。

図表 50 問9 学内規定での明文化状況



【設置者別の回答状況】

設置者別の回答状況については、特に『私立大学』において「明文化されていない」との割合が高かった（86.0%）。

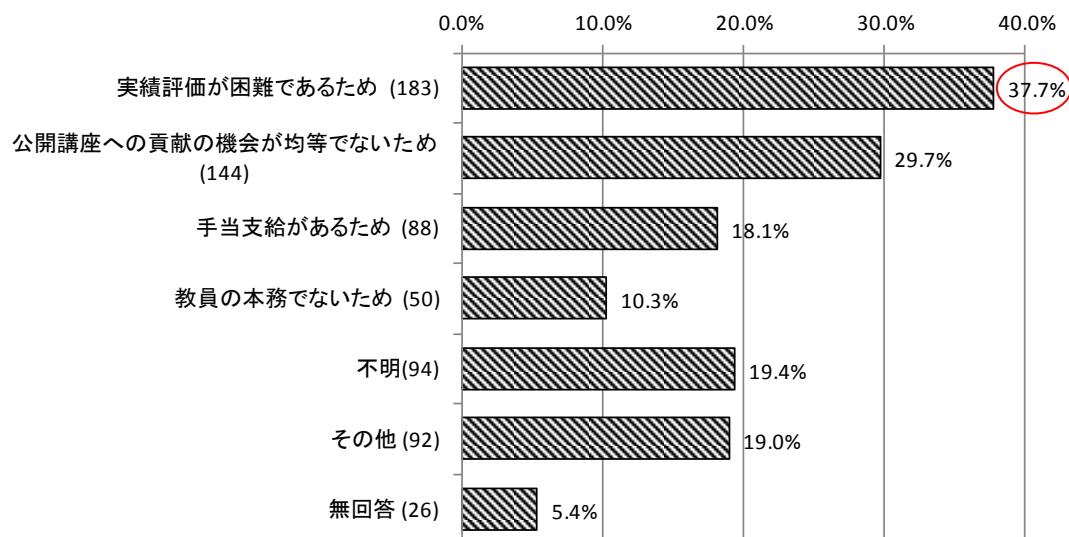
図表 51 設置者別 問9 学内規定での明文化状況

	全体	明文化されていない	明文化されている	無回答
全体	605 (100.0%)	485 (80.2%)	98 (16.2%)	22 (3.6%)
国立大学	72 (100.0%)	39 (54.2%)	33 (45.8%)	0 (0.0%)
公立大学	66 (100.0%)	44 (66.7%)	21 (31.8%)	1 (1.5%)
私立大学	465 (100.0%)	400 (86.0%)	44 (9.5%)	21 (4.5%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

②明文化されていない理由

学内規定において公開講座に関する評価の明文化がされていない理由をきいた。「実績評価が困難であるため」との回答割合が最も高く 37.7%（昨年度：32.0%）であった。

図表 52 問 9 明文化されていない理由



【設置者別の回答状況】

設置者別の回答状況についてみた。平均値と比較して、「実績評価が困難である」との回答割合が高かったのは『私立大学』であった（39.5%）。その他の理由も『私立大学』の回答割合が高い。

図表 53 設置者別 問 9 明文化されていない理由

	全体	実績評価が困難であるため	公開講座への貢献の機会が均等でないため	手当支給があるため	教員の本務でないため	不明	その他	無回答
全体	485 (1.40)	183 (37.7%)	144 (29.7%)	88 (18.1%)	50 (10.3%)	94 (19.4%)	92 (19.0%)	26 (5.4%)
国立大学	39 (1.10)	11 (28.2%)	8 (20.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (17.9%)	16 (41.0%)	1 (2.6%)
公立大学	44 (1.18)	13 (29.5%)	11 (25.0%)	1 (2.3%)	5 (11.4%)	7 (15.9%)	13 (29.5%)	2 (4.5%)
私立大学	400 (1.45)	158 (39.5%)	125 (31.3%)	87 (21.8%)	45 (11.3%)	79 (19.8%)	62 (15.5%)	23 (5.8%)
その他	2 (1.50)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)

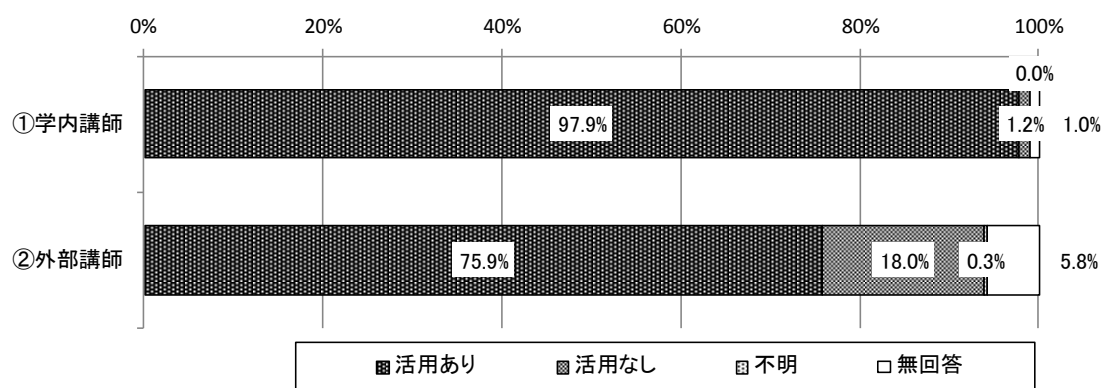
(6) 講師活用・謝金の状況

① 講師の活用状況

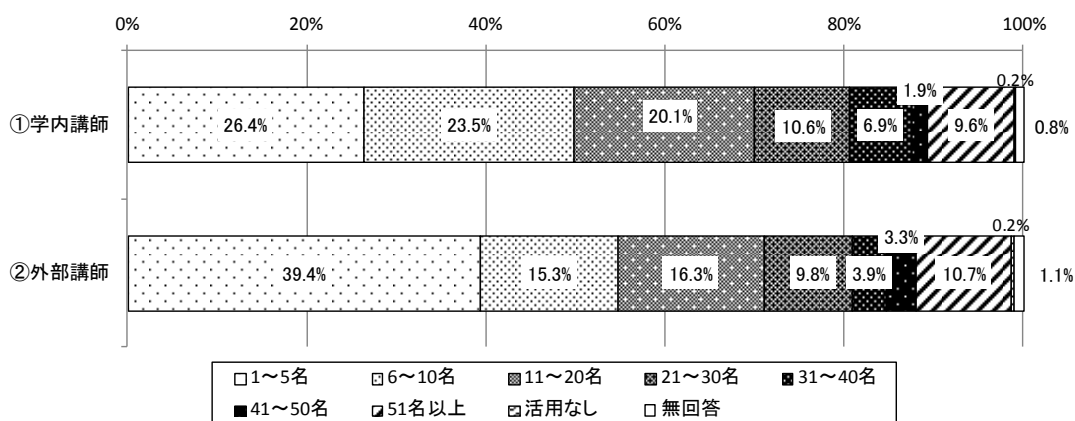
公開講座の講師活用状況をみた。『①学内講師』を活用している割合は 97.9%であった。また『②外部講師』を活用している割合は 75.9%であった。

また、『①学内講師』の活用人数については「1～5名」の割合が高かった。次いで、「6～10名 (26.4%)」、「11～20名 (23.5%)」の割合が高い。『②外部講師』についても、「1～5名」の割合が 39.4%の割合が高い。次いで、「11～20名 (16.3%)」、「6～10名 (15.3%)」の割合が高かった。

図表 54 問 10 講師の活用有無 (N=605)



図表 55 問 10 講師の活用人数 (①学内講師: N=592 ②外部講師: N=495)



【設置者別の回答状況】

設置者別に講師活用の有無をみると、学内講師の活用有無は『国立大学』、『公立大学』、『私立大学』とも活用がある割合に大きな差はなかった。外部講師の活用有無については『国立大学』が活用している割合が高かった。

また、講師の活用人数をみると、学内講師については、全体として割合の高い「1～20名」については『公立大学』、『私立大学』の回答割合が高かった。「20名以上」については『国立大学』の割合が高い。一方で、外部講師については、「1～5名」については『公立大学』、『私立大学』、『国立大学』、『私立大学』、『国立大学』の割合が高かった。

図表 56 設置者別 問 10 講師の活用有無【学内講師】

	全体	活用あり	活用なし	不明	無回答
全体	605 (100.0%)	592 (97.9%)	7 (1.2%)	0 (0.0%)	6 (1.0%)
国立大学	72 (100.0%)	69 (95.8%)	1 (1.4%)	0 (0.0%)	2 (2.8%)
公立大学	66 (100.0%)	66 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
私立大学	465 (100.0%)	455 (97.8%)	6 (1.3%)	0 (0.0%)	4 (0.9%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 57 設置者別 問 10 講師の活用有無【外部講師】

	全体	活用あり	活用なし	不明	無回答
全体	605 (100.0%)	459 (75.9%)	109 (18.0%)	2 (0.3%)	35 (5.8%)
国立大学	72 (100.0%)	61 (84.7%)	7 (9.7%)	0 (0.0%)	4 (5.6%)
公立大学	66 (100.0%)	50 (75.8%)	10 (15.2%)	0 (0.0%)	6 (9.1%)
私立大学	465 (100.0%)	346 (74.4%)	92 (19.8%)	2 (0.4%)	25 (5.4%)
その他	2 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 58 設置者別 問 10 講師の活用人数【学内講師】

	全体	1～5名	6～10名	11～20名	21～30名	31～40名	41～50名	51名以上	活用なし	無回答
全体	592 (100.0%)	156 (26.4%)	139 (23.5%)	119 (20.1%)	63 (10.6%)	41 (6.9%)	11 (1.9%)	57 (9.6%)	1 (0.2%)	5 (0.8%)
国立大学	69 (100.0%)	6 (8.7%)	6 (8.7%)	9 (13.0%)	11 (15.9%)	10 (14.5%)	2 (2.9%)	25 (36.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
公立大学	66 (100.0%)	14 (21.2%)	17 (25.8%)	14 (21.2%)	7 (10.6%)	3 (4.5%)	0 (0.0%)	11 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
私立大学	455 (100.0%)	136 (29.9%)	116 (25.5%)	95 (20.9%)	44 (9.7%)	28 (6.2%)	9 (2.0%)	21 (4.6%)	1 (0.2%)	5 (1.1%)
その他	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

図表 59 設置者別 問 10 講師の活用人数【外部講師】

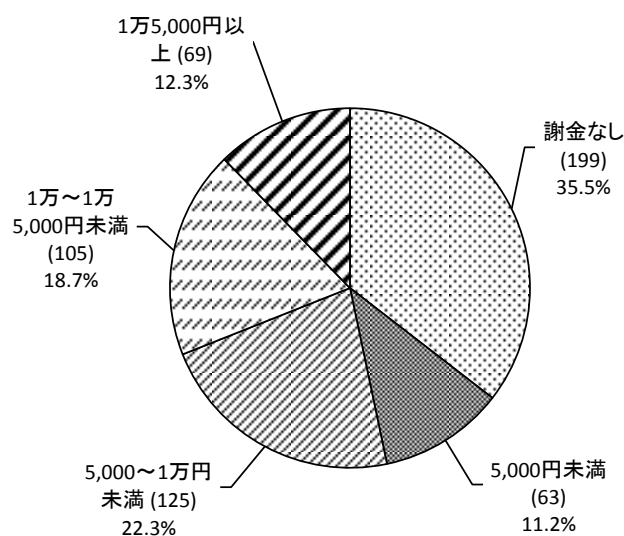
	全体	1～5名	6～10名	11～20名	21～30名	31～40名	41～50名	51名以上	活用なし	無回答
全体	459 (100.0%)	181 (39.4%)	70 (15.3%)	75 (16.3%)	45 (9.8%)	18 (3.9%)	15 (3.3%)	49 (10.7%)	1 (0.2%)	5 (1.1%)
国立大学	61 (100.0%)	17 (27.9%)	8 (13.1%)	12 (19.7%)	10 (16.4%)	2 (3.3%)	1 (1.6%)	10 (16.4%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)
公立大学	50 (100.0%)	21 (42.0%)	9 (18.0%)	8 (16.0%)	3 (6.0%)	3 (6.0%)	1 (2.0%)	5 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
私立大学	346 (100.0%)	143 (41.3%)	51 (14.7%)	55 (15.9%)	32 (9.2%)	13 (3.8%)	13 (3.8%)	34 (9.8%)	1 (0.3%)	4 (1.2%)
その他	2 (100.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

②講師謝金の状況

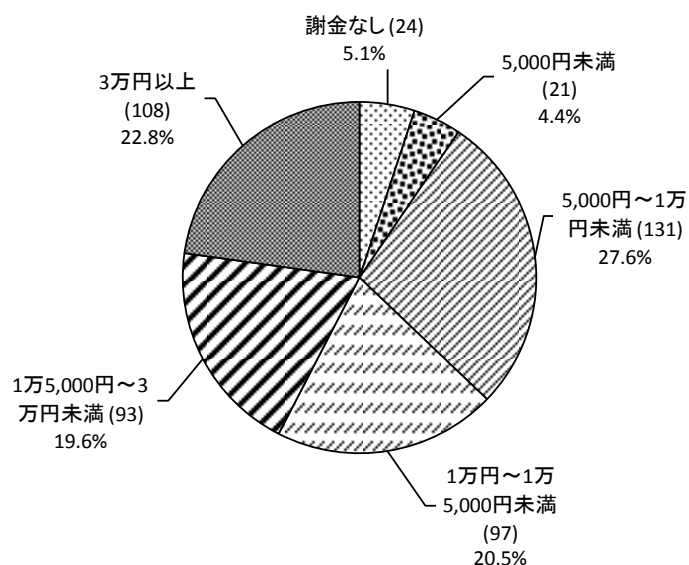
講師謝金の状況についてきいた。『学内講師』については、「謝金なし」の割合が最も高く 35.5%であった。次いで、「5,000～1万円 (22.3%)」、「1万～1万5,000円 (18.7%)」の割合が高かった。

『外部講師』については、「5,000円～1万円未満」の割合が最も高く 27.6%であった。次いで、「3万円以上 (22.8%)」「1万～1万5,000円以上 (20.5%)」「1万5,000円～3万円未満 (19.6%)」の割合が高かった。

図表 60 問 11 講師謝金額(学内講師)



図表 61 問 11 講師謝金額(外部講師)



【設置者別の回答状況】

設置者別の平均講師謝金額をみた。内部講師については、『私立大学』が、「8,464 円」と最も高かった。また、内部講師についても、『私立大学』が「22,761 円」と最も高かった。

図表 62 設置者別 問 11 内部講師の講師謝金額(1 時間あたり)(円)

	全体	平均
全体	561	6939.4
国立大学	72	1861.3
公立大学	60	2205.1
私立大学	427	8464.5
その他	2	6166.5

図表 63 設置者別 問 11 外部講師の講師謝金額(1 時間あたり)(円)

	全体	平均
全体	474	19538.7
国立大学	65	8179.2
公立大学	52	12169.7
私立大学	355	22761.7
その他	2	8250.0

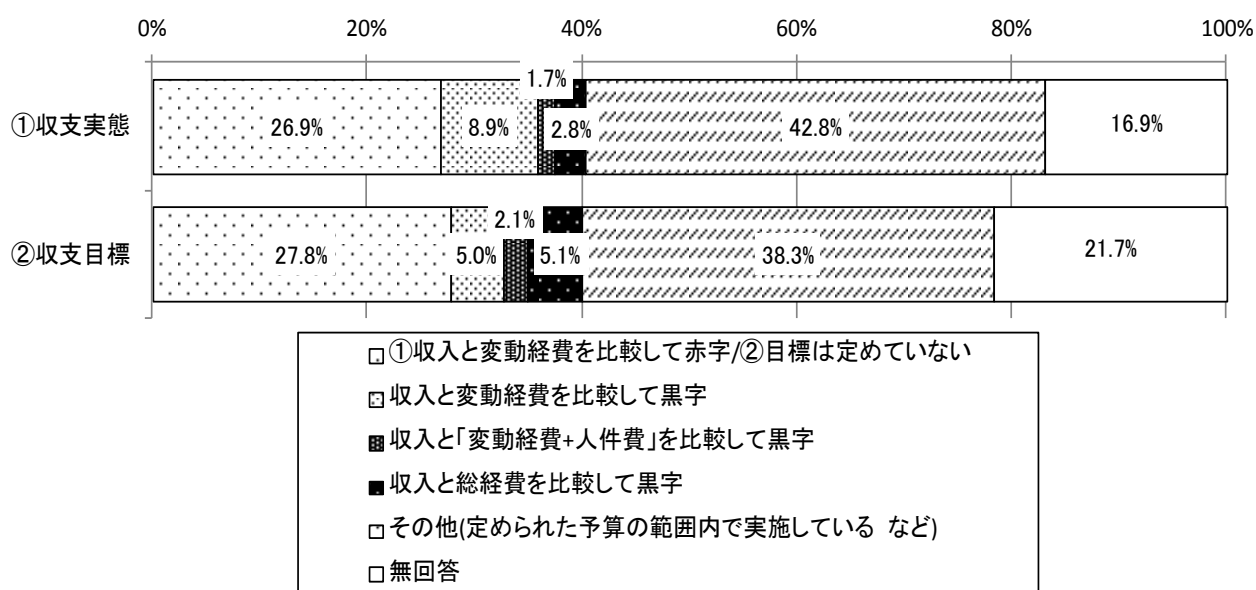
(7)公開講座の収支状況等

①公開講座の収支状況

公開講座の収支状況についてきいた。『①収支実態』、『②収支目標』ともに、「その他（定められた予算の範囲内で実施している など）」の割合が高かった。

「その他」を除くと、『①収支実態』については「収入と変動経費を比較して赤字(26.9%)」の割合が高い。『②収支目標』については「目標は定めていない (27.8%)」の割合が高かった。

図表 64 問 12 公開講座の収支実態と収支目標 (N=605)



【設置者別の回答状況】

設置者別の回答状況についてみた。収支実態について、「収入と変動経費を比較して赤字」は『国立大学』の回答割合が最も高かった(29.2%)。一方で『公立大学』の回答割合は13.6%と低かった。

収支目標について、「目標は定めていない」は『国立大学』の回答割合が最も高かった(33.3%)。

図表 65 設置者別 問 12 収支実態

	全体	収入と変動経費を比較して赤字	収入と変動経費を比較して黒字	収入と「変動経費+人件費」を比較して黒字	収入と総経費を比較して黒字	その他	無回答
全体	605 (100.0%)	163 (26.9%)	54 (8.9%)	10 (1.7%)	17 (2.8%)	259 (42.8%)	102 (16.9%)
国立大学	72 (100.0%)	21 (29.2%)	4 (5.6%)	0 (0.0%)	3 (4.2%)	44 (61.1%)	0 (0.0%)
公立大学	66 (100.0%)	9 (13.6%)	5 (7.6%)	1 (1.5%)	1 (1.5%)	41 (62.1%)	9 (13.6%)
私立大学	465 (100.0%)	133 (28.6%)	44 (9.5%)	9 (1.9%)	13 (2.8%)	173 (37.2%)	93 (20.0%)
その他	2 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (50.0%)	1 (0.0%)

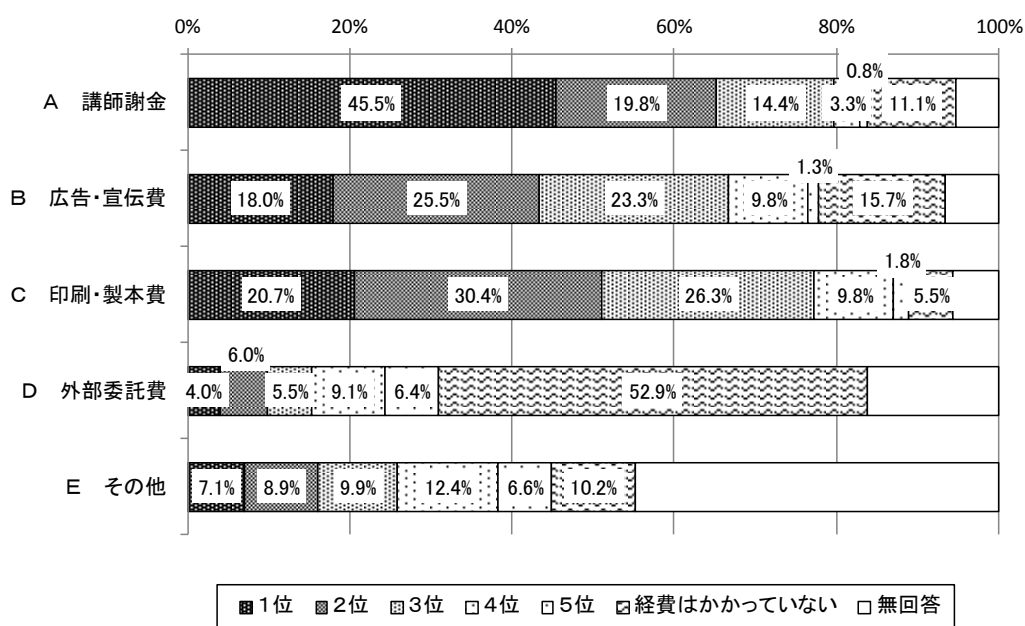
図表 66 設置者別 問 12 収支目標

	全体	目標は定めていない	収入と変動経費を比較して黒字	収入と「変動経費+人件費」を比較して黒字	収入と総経費を比較して黒字	その他	無回答
全体	605 (100.0%)	168 (27.8%)	30 (5.0%)	13 (2.1%)	31 (5.1%)	232 (38.3%)	131 (21.7%)
国立大学	72 (100.0%)	24 (33.3%)	3 (4.2%)	0 (0.0%)	4 (5.6%)	40 (55.6%)	1 (1.4%)
公立大学	66 (100.0%)	16 (24.2%)	3 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	38 (57.6%)	9 (13.6%)
私立大学	465 (100.0%)	128 (27.5%)	24 (5.2%)	13 (2.8%)	27 (5.8%)	152 (32.7%)	121 (26.0%)
その他	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (100.0%)	2 (0.0%)

②公開講座の経費

公開講座の経費の状況についてきいた。最も費用がかかっている（1位）との回答割合が高かったのは、順に『A講師謝金（45.5%）』、『C印刷・製本費（20.7%）』、『B広告・宣伝費（18.0%）』であった。『D外部委託費』については、過半数以上（52.9%）が「経費はかかっていない」と回答している。

図表 67 問 13 公開講座経費の状況 (N=605)

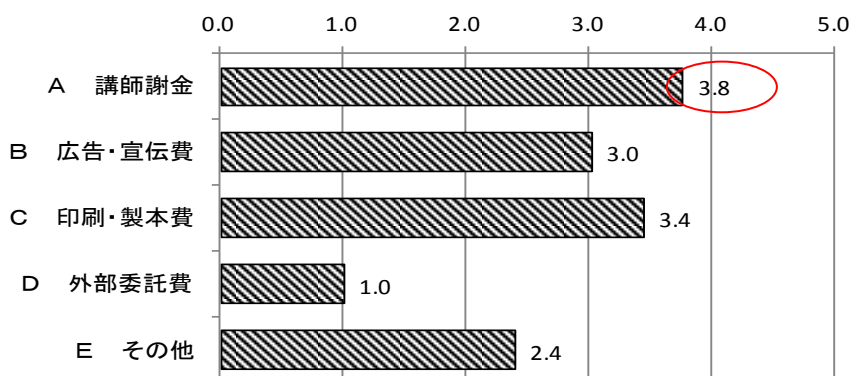


【参考：経費-その他の内容】

- ・旅費
- ・通信運搬費
- ・会議費
- ・会場費
- ・賃金
- ・消耗品費
- など

上述のような公開講座の経費の状況を点数化（1位：5点～5位：1点 経費はかかっていない：0点）して比較した。『A講師謝金』は、3.8点と最も点数が高い。次いで、『C印刷・製本費（3.4点）』、『B広告・宣伝費（3.0点）』の点数が高かった。

図表 68 問 13 公開講座経費の状況【点数化】(N=605)



【設置者別の回答状況】

設置者別の状況についてみた。『A講師謝金』、『B広告・宣伝費』については「私立大学」の点数が最も高かった。『C印刷・製本費』については「公立大学」の点数が最も高い。

図表 69 設置者別 問 13 公開講座経費の状況【点数化】(N=605)

